

料金別納郵便



日本作陶 40 周年記念

ピーター・ハーモン 陶展

令和5年6月4日(日)~9日(金) 会期中無休

開廊時間: 午前11時~午後7時 (最終日9日は午後5時まで)

作家在廊日: 会期中、全日在廊予定

■ 記念茶会のご案内「芒種の茶会」 [席主: 藪内流 井谷宗巖(ピーター・ハーモン)]

日時: 6月6日(火) 11時、13時席入

場所: 新宿 京懐石 柿 傳 (東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビル) 会費: 5,000円(税込)

受付・寄付「安与ホール/7階」→ 薄茶席「残月亭/9階」→ 点心席「古今サロン/6階」

申込: 参加ご希望の方は、下記のお電話かメール又は下のQRコードからお申し込み下さい。

茶陶といえば「土もの」のイメージが強いが、ピーター・ハーモンは磁器の茶道具を積極的に手がけてきた。天草陶石を2割程混ぜた出石系の角谷上石を使用し、1220度までゆっくりと温度を上げる。轆轤成形による薄作りの茶碗や花入には抑揚のある抽象的な彫文様が施され、彫りの凹凸による釉薬の厚みの変化が、微妙な陰影を生む。清浄な白い器の中では茶の緑もひととき美しい。一方で土ものの茶碗では、地元農家から得た黒豆のガラ(豆と根以外の部分)の釉薬で、梅花皮(かいらぎ)の表情を楽しんでいる。SDGsな作陶を自然に実践してきたのである。磁器で鍛えた端正さと、陶器の茶碗の遊び心は、相互に穏やかな相乗効果を生んでいる。それはまた日本とアメリカの気質の豊かな融合かもしれない。

外館和子 (多摩美術大学 教授)

陶歴 昭和31年 アメリカ・ネブラスカ州生まれ
昭和53年 グレースランド大学 美術科 卒業
昭和56年 来日
昭和60年 滴翠美術館 付属陶芸研究所専攻科 卒業
昭和63年 篠山市に開窯

日本伝統工芸展、日本陶芸展、田部美術館大賞 茶の湯の造形展等入選・入賞多数
現在、日本工芸会 正会員、京都工芸作家協会 理事

柿伝ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

6/6 芒種の茶会
申込ページ



